



2009/10/01

## 鳥との出会い

私の鳥見は、子供と20年程前に、野鳥の会兵庫県支部事務所を訪ねて、どんな双眼鏡が良いか、増補版フィールドガイド日本の野鳥図鑑が出た所だから良いと思うとか、教えて頂いて、まずスタート。ぼつぼつ楽しみ、分からない時は野鳥の会に電話して教えて貰っていました。

出会った鳥を、見ていたのから、出会いを求めて歩き始めたのは、2003年に野鳥観察会で六甲山上のコースを歩いたのが始まりです。まず、家から近いし、コースが気に入りました。見た鳥の事だけでなく、時期と出る鳥、場所を教えて下さったので、本に書き込み、そのコースを何度か友と歩き、一人でも歩く。リーダーに教えて頂いた通り、クロツグミ、ヤブサメ、マミジロ、コルリにも出会え六甲山でも見れた事に感激。

しかし、圧巻は 2006年8月21日・ヤブサメの渡りに出会えた事です。

この1週間位前からヤブサメファミリーに、よく出会えてたのに…。その日は、出会った山歩きの方が、三国池迄の道を教えて下さる事になりハイキング。結果、何も見れず。三国池から、一人で少し緊張の戻り道、道を曲がった所に、突如ヤブサメの群が地上から2メートル位の間で、あっちにもこっちにも。ざっと数えて20羽はいるし、目で追うと30羽は居る模様。幼鳥は低い枝にいて、私の1.5m位に迄、近寄って来る。私は木になり、指を差し出し、おいで…おいで…と中腰で囁く。親鳥は木の葉の繁ってる下の枝で、ピチピチッと警戒音!…親の気迫… 彼らが通過する迄の至福の一時でした。

ヤブサメの渡りは早くから始まる。旨く行けば会える…と、あの時教えて頂いて以来、藪を列で歩く姿を想像しては、藪を覗いていた私。海を渡って来るのは知ってたのに…木の枝から枝へ渡って行く姿に思わず笑いました。

今は、ヤブサメを4月初旬の早朝に六甲の麓で第一陣、第二陣と迎え、8月中旬から山上で観察。お陰様で、時に、コルリにも会え、免疫力アップ! 残暑に耐える力にもなっています。

最後に鳥との出会いは、その時々、良き鳥友との出会いがあり、教えて下さる方が、あってこそだと、つくづく感謝しています。

有難うございました! これからも宜しく m( )m

鳥と出会った人：森田 美佐子